iiyama

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite XUB3493WQSU

重要

ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意下さい。

■ モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。

■ 電源コードおよびケーブル類は付属のものを使用すること。

日本語

■ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。

■ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

■ 本書に記載した会社名，商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用のモニタの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか

- ●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
- ●キャビネットが異常に熱い。
- ●煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- ●使用中に異常な音や振動などがある。
- ●その他の異常や故障がある。

⇒

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをはずし、必ず販売店またはiiyamaサポートセンターにご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店またはiiyamaサポートセンターにご相談ください。

もくじ

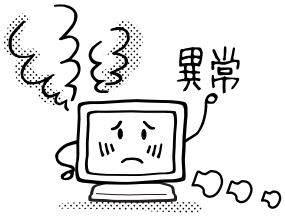
安全にご使用いただくために 1
ご使用の前に 6
特長 6
標準付属品 6
アーム / スタンドの使用 7
スタンドの取り付け / 取り外し 9
各部のなまえ 10
コンピュータとの接続 11
コンピュータの設定 12
モニタの高さ / 角度調節 13
操作手順 14
調整メニューの内容 15
スタンバイ機能 25
故障かなと思ったら 26
クリーニング 27
アフターサービス 28
保証書 / 保証期間について 28
修理サービス 28
リサイクル / 廃棄について 28
付録 29
一般仕様：ProLite XUB3493WQSU-B6 29
外形寸法図 30
対応信号タイミング 30

本書に記載の注意事項に反するお取扱いによって生じた故障や損害は、保証期間内であってもサポート及び保証の対象外となります。

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

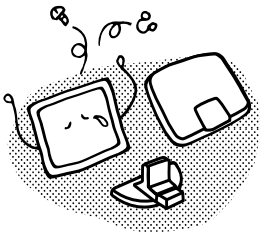
⚠警告



プラグを抜く

万一、異常が発生したら

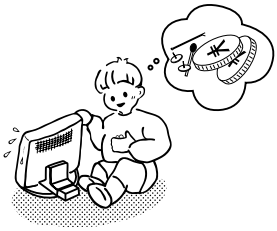
煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店または iiyama サポートセンターにご依頼ください。



禁止

プラグを抜く

異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一、異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

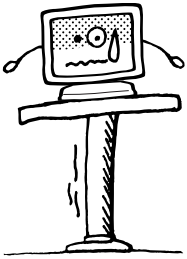
禁止

プラグを抜く

花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。
万一、水などが入ったときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

⚠警告

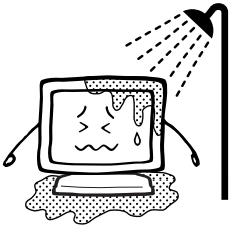


禁止

プラグを抜く

不安定な場所に置かない

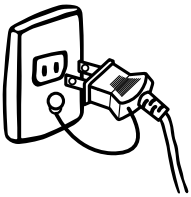
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード (黄 / 黄緑) を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後おこなってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。
コードが傷んだらすぐに販売店または iiyama サポートセンターに交換をご依頼ください。

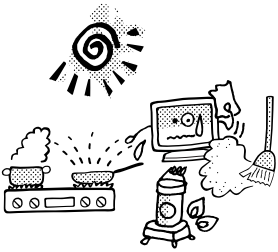
接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

日本語

⚠注意

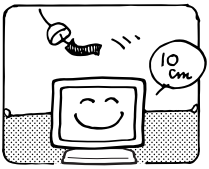


禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



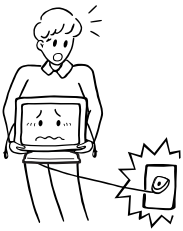
禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

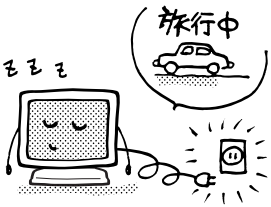
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から 10cm 以上離して置いてください。スタンドを取り外して使用するときも、モニタ背面の通風孔をふさがないように十分なスペースを確保してください。



指示に従う

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

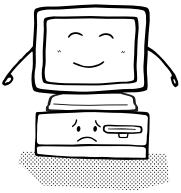
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



指示に従う

旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



指示に従う

コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

⚠注意

指示に従う

プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

指示に従う

手や指に注意！

ケガの原因となることがあります。

- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。
- 高さ調節の際、モニタ下部とスタンドの間に手を入れているときに、モニタを勢いよく下げないでください。

指示に従う

24 時間連続使用しないで

本製品は、24 時間連続使用することを前提として設計されておりませんので、24 時間連続して使用しないでください。

指示に従う

天井や壁への取り付けはできません

本製品は、デスクトップでの使用を目的として設計されており、天吊りやウォールマウント (壁掛け) 等によるデジタルサイネージ (電子看板) 用途には対応しておりません。

指示に従う

モニタを下方向へ傾けすぎない

モニタを下方向へ調節範囲を超える角度に傾けて使用しないでください。液晶パネルが剥がれて落下し、損傷するおそれがあります。

指示に従う

モニタにアルコールや消毒薬を使用しない

モニタにアルコールや消毒薬等を直接吹き付けたり、モニタの近くで使用しないでください。また、アルコールや消毒薬等を含んだ布やシート等でモニタを拭かないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約 40 ～ 60cm はなれたくらいが見やすくて疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

■ お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。

■ ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。

■ 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。

■ 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。

■ 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像 (焼き付きのような症状) が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。

・画面の表示パターンを変える。

・数時間電源を切っておく。

■ 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店または iiyama サポートセンターまでお問い合わせください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。
また、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

- ◆ 最大 3440 × 1440 の解像度をサポート
- ◆ 高コントラスト 1000:1(標準), アドバンストコントラスト機能搭載 , 輝度 400cd/m^2(標準) の高性能パネル採用
- ◆ 動画応答速度 (MPRT) 1ms
- ◆ フリッカーフリー対応
- ◆ ブルーライト低減機能搭載
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ 5W ＋ 5W 出力のステレオスピーカー内蔵
- ◆ 省電力設計
  スタンバイ機能搭載
- ◆ VESA マウント規格 (100mm × 100mm) 対応
- ◆ 盗難防止ロック対応

日本語

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

- ■ 電源コード (AC100V 用) *
- ■ HDMI ケーブル
- ■ DisplayPort ケーブル
- ■ USB ケーブル (Type-A-B)
- ■ スタンドネック
- ■ スタンドベース（ネジ付き)
- ■ ドライバー (L 型)
- ■ セーフティ & クイックスタートガイド / 保証書

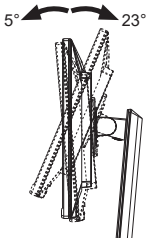
補足 * 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。
また、次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

- ■ 付属以外の電源コードをお使いになる場合
- ■ 日本以外の国でお使いになる場合
  サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

アーム / スタンドの使用

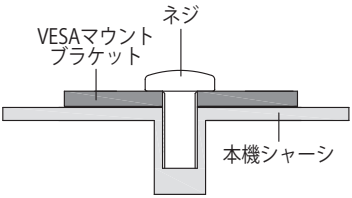
注意

- 本製品は、デスクトップでの使用を目的として設計されており、天吊りやウォールマウント (壁掛け) 等によるデジタルサイネージ (電子看板) 用途には対応しておりません。
- 取り付けの前に、ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドが、モニタを取り付けるのに十分な強度があることを確認してください。
- モニタの角度調節範囲を上方向 23°、下方向 5°の範囲内でご使用ください。この範囲を超えて、上向きや下向きにして使用することはできません。
- モニタを下方向へ 5°を超える角度に傾けて使用 (設置) すると、液晶パネルが剥がれて落下し、損傷するおそれがあります。また、このような場合はサポート及び保証の対象外となります。
- 定期的にネジの締め付けを確認してください。締め付けが不十分な場合、モニタが外れ、けがや故障の原因になります。



< ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドを使用する場合 >

ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドをご使用になる場合は、VESA マウントブラケットの厚さを考慮の上、M4 × 13mm のネジ 4 本を使ってモニタに固定し、すべてのネジがしっかりと締められていることを確認してください。これより長いネジを使用するとモニタ内部の電気部品に接触し、感電または故障の原因となることがあります。
本製品では、VESA マウントブラケットの厚さは約 2.5mm を想定しています。



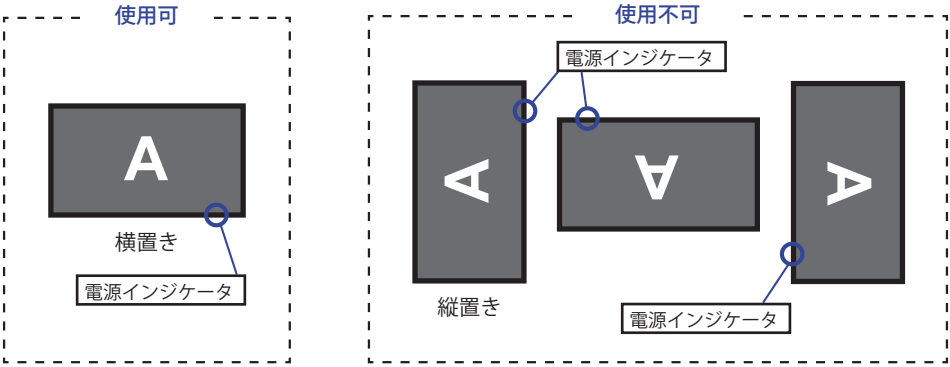
日本語

< 画面の回転 >

■ このモデルでは利用できません。

注意 本製品の昇降スタンドには、モニタ設置時に画面の傾きを調節できるように回転機能が付いています。
ただし、本製品はあくまでも横置きでの使用を前提として設計しておりますので、本回転機能を利用して、画面を縦置きや逆さまの状態では使用しないようにしてください。
（画面を縦置きや逆さまの状態で使用された場合は、保証の対象外となります。）
また、モニタの画面位置 (角度、傾き、高さ等) を調節する際は、安全のために両手で調節するようにしてください。

本製品は、横置きで使用するように設計されています。



日本語

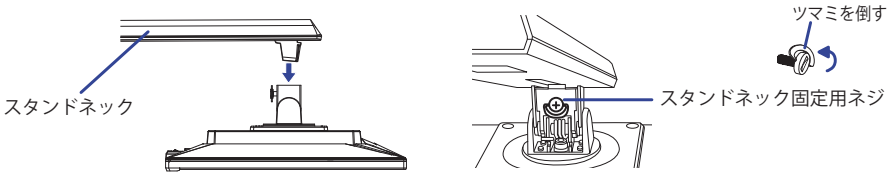
スタンドの取り付け / 取り外し

注意

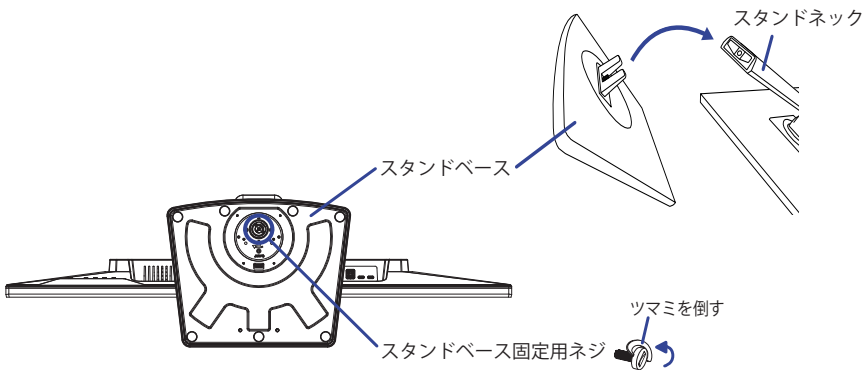
- スタンドの取り扱いは安定した台の上でおこなってください。モニタが転倒・落下してけがや故障の原因となります。
- モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- スタンドの取り付けや取り外しをおこなう場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電や故障の原因となります。
- 定期的にネジの締め付けを確認してください。締め付けが不十分な場合、モニタが外れ、けがや故障の原因になります。

< 取り付け >

① 平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画面を下にして置きます。
② モニタの背面にスタンドネックを取り付け、付属のドライバーを使って固定用ネジを締めて固定し、ネジのツマミを倒します。



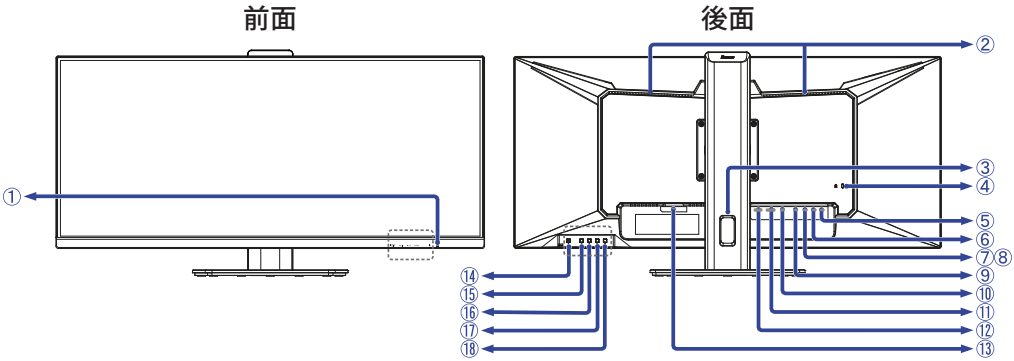
③ スタンドベースをスタンドネックに差し込み、スタンドベース底面の固定用ネジを締めて固定し、ネジのツマミを倒します。



< 取り外し >

① 平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画面を下にして置きます。
② スタンドベース底面の固定用ネジを緩め、スタンドネックからスタンドベースを取り外します。
③ 付属のドライバーを使ってスタンドネック固定用ネジを緩め、モニタからスタンドネックを取り外します。

各部のなまえ



① 電源インジケータ

補足 青色点灯：通常動作時
橙色点灯：スタンバイモード

② スピーカー

③ ケーブルホール

④ 盗難防止ロック用ホール ( )

補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

⑤⑥ USB Type-C DOWN コネクタ (USB3.2 Gen 1: 5Gbps, 5V, 2A)

⑦⑧ USB Type-A DOWN コネクタ (USB3.2 Gen 1: 5Gbps, 5V, 900mA)

⑨ USB Type-B UP コネクタ ( ) *

⑩ DisplayPort コネクタ (DP)

⑪ HDMI コネクタ (HDMI-2)

⑫ HDMI コネクタ (HDMI-1)

⑬ 電源コード接続コネクタ (～ : 交流)

⑭ 電源ボタン ( )

⑮ メニューボタン (MENU)

⑯ 調整 / 音量調整 / ミュートボタン (▶ /) ダイレクト調整

⑰ 調整 / ショートカットボタン (◀ / i) ショートカット

⑱ 入力選択 / 終了ボタン (INPUT / EXIT) ダイレクト調整

* 付属の USB ケーブルで USB 対応コンピュータと接続します。

ダイレクト調整
メニュー画面を表示する手間を省き、ボタン操作で直接設定 / 調整画面に入ることができます。

ショートカット
ショートカットメニュー：輝度 / オーバードライブ / ECO / i-Style Color

日本語

コンピュータとの接続

警告

- 安全のため、必ずアースリード (黄 / 黄緑) を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。順番を間違えると、感電の原因となります。
- アースリードをコンセントに挿入，接触させないでください。火災や感電の原因となります。

注意

- 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。
- 周辺機器への取り付けや取り外しをおこなう場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電や故障の原因となることがあります。
- 付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。

① モニタおよびコンピュータの電源が「オフ」であることを確認します。

② HDMI ケーブルまたは DisplayPort ケーブルを、モニタとコンピュータに接続します。

補足 1 台のコンピュータに HDMI ケーブルと DisplayPort ケーブルを一緒に接続しないでください。不具合が発生することがあります。

③ HDMI 接続ができる AV 機器を使用する場合は、HDMI ケーブルをモニタと AV 機器に接続します。

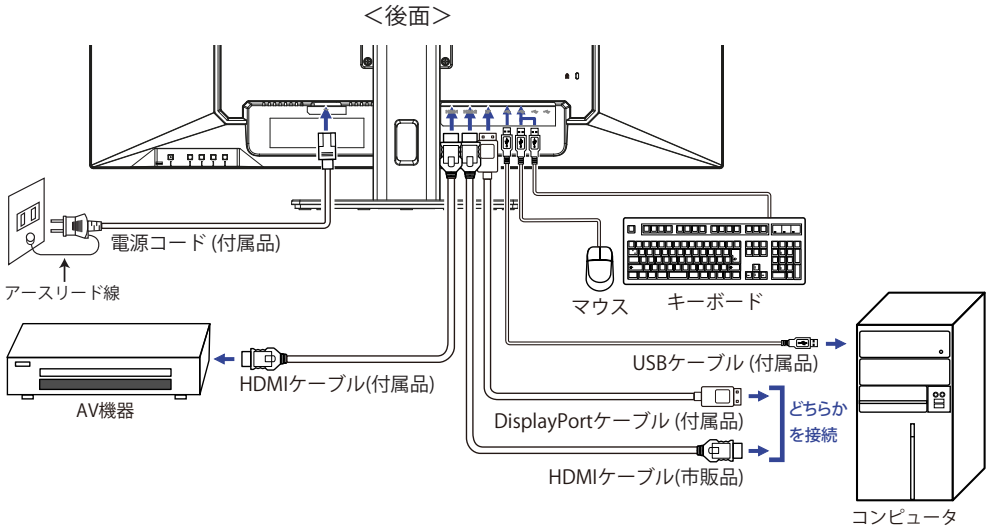
④ USB 機能を使用する場合は、USB ケーブルの コネクタをモニタに、USB ケーブルの コネクタをコンピュータに接続します。

外付けの大容量 HDD を使用する場合は外部電源が必要です。必ず電源に接続してください。

⑤ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。

⑥ モニタおよびコンピュータの電源を「オン」にします。

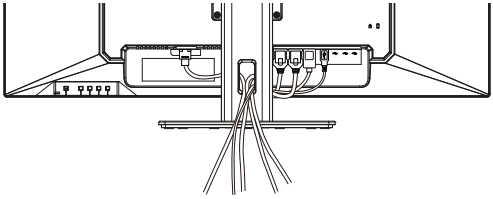
[接続例]



日本語

[ケーブルをまとめる]

ケーブル類をケーブルホールに通して、
図のようにまとめます。



コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度（P.30「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

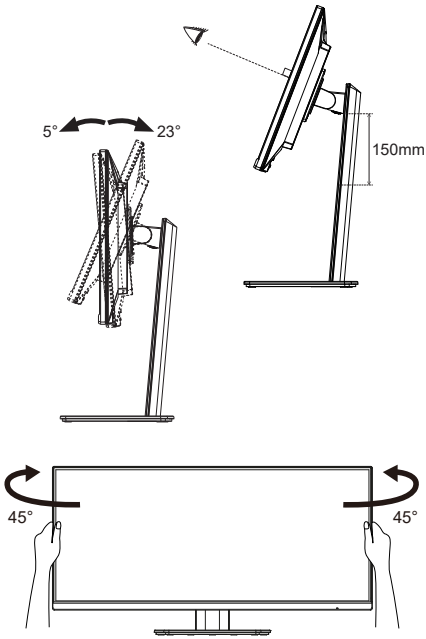
日本語

モニタの高さ / 角度調節

注意

- 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。
- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。
- 高さ調節の際、モニタ下部とスタンドベースの間に手を入れているときに、モニタを勢いよく下げないでください。ケガの原因となることがあります。

- 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。高さや傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。
- 高さ調節や角度調節の際は、モニタの左右を持っておこなってください。
- 高さ調節範囲は 150mm、角度調節範囲は左右各 45°、上方向 23°、下方向 5°です。



日本語

操作手順

P.30 の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作をおこなってください。
オンスクリーン表示 (OSD) の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

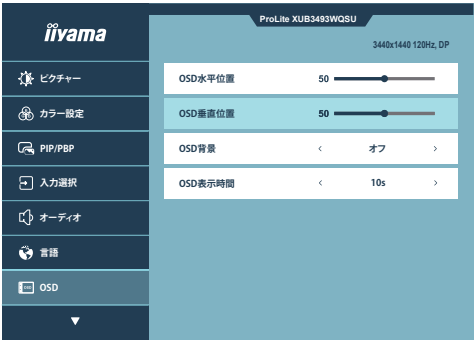
① **MENU ボタンを押すと、画面にメインメニューのアイコンが表示されます。**

② **◀/▶ ボタンで調整または設定したいメニューのアイコンを選択し、MENU ボタンを押します。サブメニューが表示されたら、◀/▶ ボタンで希望のメニューを選択します。**

③ **再び MENU ボタンを押し、◀/▶ ボタンを使って調整や設定をおこなっていきます。**

④ **EXIT ボタンを押して終了します。**
オンスクリーン表示が消えると、調整や設定の内容が自動的に記憶されます。

例えばオンスクリーン表示の垂直位置を調整したいときは、まずメインメニューから OSD **OSD** を選択し、MENU ボタンを押します。次に ◀/▶ ボタンで **OSD 垂直位置**を選択し、MENU ボタンを押します。
◀/▶ ボタンでお好みの位置に調整します。



最後に EXIT ボタンを押して終了すると、調整内容が記憶されます。

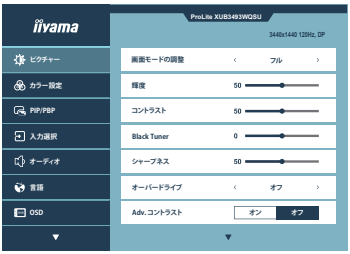
補足
■ 調整中にボタン操作を中止すると、**OSD 表示時間**のオフタイマー設定時間後にオンスクリーン表示が消えます。また、EXIT ボタンを数回押すと、オンスクリーン表示を消すことができます。
■ オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源をオフにしないでください。

日本語

調整メニューの内容

言語 (Language) で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

ピクチャー
Picture



サブメニュー	画面の状態 / オプション		調整ボタン
画面モードの調整 *1,2 Video Mode Adjust	フル	全画面表示	
	アスペクト *3	アスペクト比に拡大表示	
	ドットバイドット *3	ドットバイドット表示	
輝度 *4,5 Brightness ショートカット	暗すぎる 明るすぎる		▶ ◀
コントラスト *5 Contrast	弱すぎる 強すぎる		▶ ◀
Black Tuner *5 Black Tuner	-5 ～ +5 （暗い→明るい）まで設定されています。 画面の暗い箇所の色合いを調整することができます。		▶ ◀
シャープネス *5 Sharpness	0 ～ 100 (シャープ→ソフト) まで設定されています。 ▶ ボタンを押すと昇順に変化し、◀ ボタンを押すと降順に変化します。3440 × 1440 未満の解像度のときに表示品位を調整します。		▶ ◀
オーバードライブ *2,5 Overdrive ショートカット	オフ / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 レベル (数字) が上がると応答速度が速くなります。		▶ ◀
補足 レベル 6 は、Motion Blur reduction (MBR) がオンのときのみ有効です。			
Adv. コントラスト *2,5 Adv. Contrast	オン	コントラスト比を改善します。	
	オフ	標準	
ECO *5 ECO ショートカット	オフ	標準	
	1	バックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。	
	2	1 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。	
	3	2 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。	
X-Res Technology *5 X-Res Technology	オフ	標準	
	ソフト	映像の輪郭を強調します。	
	ミドル	ソフトより映像の輪郭を更に強調します。	
	ハード	ミドルより映像の輪郭を更に強調します。	

日本語

*1 **Adaptive Sync** がオンのときは無効です。

*2 **PIP/PBP Mode** がオンのときは無効です。

*3 解像度が 3440 × 1440 未満のときのみ有効です。

*4 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度を調整してください。

*5 有効になっている他のメニューが作用し、調整や設定ができない場合があります。詳細は、P.18 **メニュー対応表 1** をご覧ください。

ショートカット

以下のボタン操作で、特定メニューへのショートカットが可能です。

- 輝度：メニュー画面を表示していないときに **i** ボタンを押し、**輝度**を選択します。
- オーバードライブ：メニュー画面を表示していないときに **i** ボタンを押し、**オーバードライブ**を選択します。
- ECO：メニュー画面を表示していないときに **i** ボタンを押し、**ECO** を選択します。

日本語

カラー設定 *
Color

サブメニュー	画面の状態 / オプション	調整ボタン
色温度 Color Temperature	クール	寒色
	ノーマル	標準
	ウォーム	暖色
ユーザーカラー設定 User Color	赤	弱すぎる 強すぎる
	緑	
	青	
i-Style Color i-Style Color ショートカット	標準	標準
	ゲーム	ゲームをするときなどに最適です。
	映画	映画を鑑賞するときなどに最適です。
	風景	屋外の風景を表示するときに最適です。
	テキスト	文章を作成するときなどに最適です。
	オフ	i-Style Color 以外のカラー調整で設定された状態に戻ります。
Blue Light Reducer Blue Light Reducer	オフ	標準
	1	ブルーライトを軽減します。
	2	ブルーライトをモード 1 より軽減します。
	3	ブルーライトをモード 2 より軽減します。
ガンマ Gamma	1.8	
	2.2	
	2.6	

* 有効になっている他のメニューが作用し、調整や設定ができない場合があります。詳細は、P.18 **メニュー対応表 1** をご覧ください。

ショートカット

以下のボタン操作で、特定メニューへのショートカットが可能です。

● i-Style Color：メニュー画面を表示していないときに **i** ボタンを押し、**i-Style Color** を選択します。

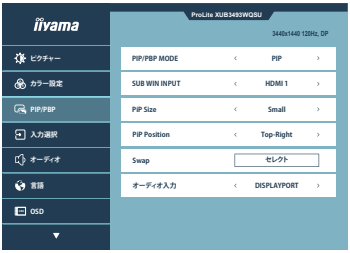
日本語

■ メニュー対応表 1

有効になっているメニュー ＼ 選択メニュー		ピクチャー								カラー設定				
		輝度	コントラスト	Black Tuner	シャープネス	オーバードライブ	Adv. コントラスト	ECO	X-Res Technology	色温度	ユーザーカラー設定	i-Style Color	Blue Light Reducer	ガンマ
ピクチャー	Adv. コントラスト	×	○	○	○	○		×	○	○	○	○	×	○
	ECO	×	○	○	○	○	×		○	○	○	○	×	○
	X-Res Technology	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○
カラー設定	i-Style Color	×	×	×	○	–	×	×	○	×	×		×	×
	Blue Light Reducer	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○		○
PIP/PBP	PIP/PBP Mode	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
設定メニュー	HDR	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×
	Motion Blur reduction	×	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○

○ : 調整 / 設定 可　　× : 調整 / 設定 不可

PIP/PBP *1,2
PIP/PBP



サブメニュー	オプション	
PIP/PBP Mode PIP/PBP Mode	オフ	PIP/PBP Mode をオフにします。
	PIP	メイン画面の中にサブ画面を表示します。
	PBP	メイン画面を左側、サブ画面を右側に表示します。
Sub Win Input Sub Win Input	HDMI 1	サブ画面の映像入力を HDMI 1 に切り替えます。
	HDMI 2	サブ画面の映像入力を HDMI 2 に切り替えます。
	DisplayPort	サブ画面の映像入力を DisplayPort に切り替えます。
PiP Size PIP Size	Small	サブ画面のサイズを小さくします。
	Middle	標準サイズのサブ画面
	Large	サブ画面のサイズを大きくします。
PiP Position PIP Position	Top-Right	サブ画面を右上へ移動します。
	Bottom-Left	サブ画面を左下へ移動します。
	Bottom-Right	サブ画面を右下へ移動します。
	Top-Left	サブ画面を左上へ移動します。
Swap Swap	PIP または PBP が有効になっているときに、メイン画面とサブ画面を即座に入れ替えます。	
オーディオ入力 Audio Input	メイン画面またはサブ画面のオーディオ入力を有効にします。	

*1 **HDR** がオンのときは無効です。

*2 PIP = ピクチャー・イン・ピクチャー
PBP = ピクチャー・バイ・ピクチャー

日本語

入力選択
Input Select

ダイレクト調整

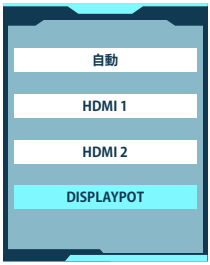
サブメニュー	オプション		
入力選択 Input Source	自動	映像入力を検出し、自動的に切り替えます。	
	手動	HDMI 1	映像入力を HDMI 1 入力に切り替えます。
		HDMI 2	映像入力を HDMI 2 入力に切り替えます。
		DisplayPort	映像入力を DisplayPort 入力に切り替えます。

補足 “自動” オプションは、入力されている信号のいずれかを自動的に選択します。
スタンバイモードになっているコンピュータからの信号には、切り替えできません。
また、手動で切り替えた入力信号は固定され、他の信号は自動選択されません。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次の操作で直接、設定画面に入ることができます。

- 入力選択：メニュー画面を表示していないときに、INPUT ボタンを押します。



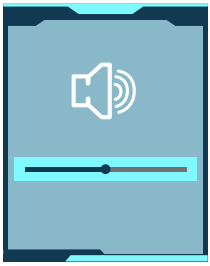
オーディオ
Audio

サブメニュー		画面の状態 / オプション		調整ボタン
音量調整 Volume	ダイレクト調整	音量が小さい 音量が大きい		▶ ◀
ミュート Mute	ダイレクト調整	オン	一時的に音を消します。	
		オフ	元の音量に戻します。	

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次の操作で直接、調整 / 設定画面に入ることができます。

● 音量調整：メニュー画面を表示していないときに、🔈 ボタンを押します。



● ミュート：メニュー画面を表示していないときに、🔈 ボタンを 4 秒間押し続けます。この操作を繰り返すことで、ミュート / ミュートオフが切り替わります。

日本語

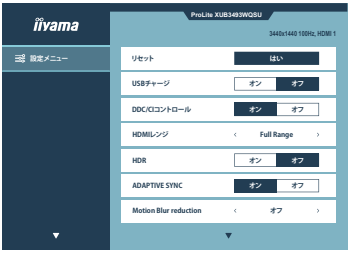
言語
Language

オプション			
English	英語表示	日本語	日本語表示
Deutsch	ドイツ語表示	Nederlands	オランダ語表示
Español	スペイン語表示	Polski	ポーランド語表示
Français	フランス語表示	Русский	ロシア語表示
Italiano	イタリア語表示	Česky	チェコ語表示

OSD
OSD

サブメニュー	画面の状態 / オプション	調整ボタン
OSD 水平位置 OSD H. Position	OSD が左に寄っている OSD が右に寄っている	▶ ◀
OSD 垂直位置 OSD V. Position	OSD が下に寄っている OSD が上に寄っている	▶ ◀
OSD 背景 OSD Background	OSD の背景を透過させます。 オフ / 1 / 2 / 3 / 4	▶ ◀
OSD 表示時間 OSD Time Out	OSD のオフタイマーを設定します。 5 / 10 / 30 / 60s（秒）	▶ ◀

設定メニュー
Setup Menu



サブメニュー	オプション	調整ボタン
リセット Reset	はい	工場出荷状態に戻します。
USB チャージ USB Charge	オン	モニタがスタンバイモードになっていても、USB 機器を充電できます。
	オフ	モニタがスタンバイモードになっているときは、USB 機器を充電できません。
補足 モニタの電源をオフにすると、本機能をオンにしていても USB 機器は充電できません。		
DDC/CI コントロール DDC/CI Control	オン	DDC/CI コントロールをオンにします。
	オフ	DDC/CI コントロールをオフにします。
HDMI レンジ *1 HDMI Range	Full Range	フルレンジカラースケール信号用
	Limited Range	制限されたカラースケール信号用
HDR *2 HDR	オン	HDR (High Dynamic Range) 信号に対応します。
	オフ	通常の信号に対応します。
Adaptive Sync *2 Adaptive Sync	オン	Adaptive Sync 機能をオンにします。
	オフ	Adaptive Sync 機能をオフにします。
Motion Blur reduction *2 Motion Blur Red.	オフ / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 動画のブレを改善します。 リフレッシュレートが 100Hz 以上のときのみ有効です。	
オープニングロゴ Opening Logo	オン	電源を入れたときに、iiyama ロゴを表示します。
	オフ	電源を入れたときに、iiyama ロゴを表示しません。
電源 LED Power LED	オン	電源インジケータを点灯します。
	オフ	電源インジケータを消灯します。
補足 電源インジケータの光が気になるときにご使用ください。		
インフォメーション Information	コンピュータのグラフィックカードから入ってくる現在の入力信号関連の情報を表示します。	
補足 解像度とリフレッシュ速度の変更に関する詳細については、グラフィックカードのユーザーガイドをご覧ください。		

*1 HDMI 入力時のみ有効です。接続機器によっては無効になる場合があります。

*2 有効になっている他のメニューが作用し、調整や設定ができない場合があります。詳細は、P.24 **メニュー対応表 2** をご覧ください。

日本語

■ メニュー対応表 2

選択メニュー / 有効になっているメニュー		設定メニュー		
		HDR	Adaptive Sync	Motion Blur reduction
ピクチャー	Adv. コントラスト	○	○	×
	ECO	○	○	×
カラー設定	Blue Light Reducer	○	○	×
PIP/PBP	PIP/PBP Mode	×	×	×
設定メニュー	HDR		○	×
	Adaptive Sync	○		×
	Motion Blur reduction	×	○	

○ : 調整 / 設定 可　　× : 調整 / 設定 不可

■ ロック機能

<OSD メニュー >

不用意な設定変更などを防ぐため、OSD メニューを表示をさせないようにします。

1. モニタの電源がオンになっていることを確認します。
2. MENU ボタンを約 5 秒間押し続けます。画面に “OSD ロック” と表示され、OSD メニューの表示ができなくなります。
3. 解除するには 2. と同様の操作をおこないます。画面に “OSD ロック解除” と表示されると、OSD メニューが再び表示できるようになります。

< 電源ボタン >

不用意な電源操作などを防ぐため、電源ボタンを無効にします。

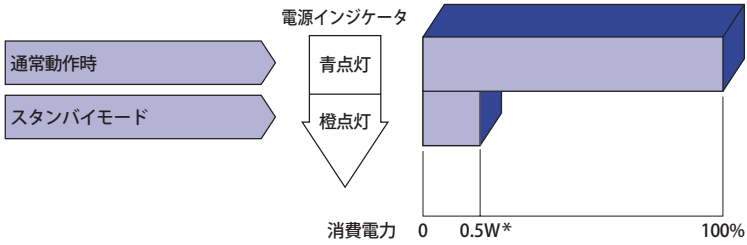
1. モニタの電源がオンになっていることを確認します。
2. INPUT/EXIT ボタンを約 5 秒間押し続けます。画面に “電源ボタンロック” と表示され、電源ボタンが無効になります。
3. 解除するには 2. と同様の操作をおこないます。画面に“電源ボタンロック解除”と表示されると、電源ボタンが再び有効になります。

スタンバイ機能

本製品のスタンバイ機能は、一定時間コンピュータを使用しないときに、モニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能は次のモードを備えており、モードの時間設定等はコンピュータ側でおこないます。

■ スタンバイモード

コンピュータからのビデオ信号がオフ状態になるとスタンバイモード（消費電力 0.5W* 以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



* USB 機器未接続時

日本語

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1.「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は 2 へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

症状	チェックポイント
① 映像が出ない（電源インジケータ点灯せず）	□ 電源コードが確実に接続されていますか？ □ 電源が「オン」になっていますか？ □ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。
（電源インジケータ青色）	□ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。 □ 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？ □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
（電源インジケータ橙色）	□ スタンバイモードになっていませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。 □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
② 画面が乱れている	□ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
③ 画面の位置が片寄っている	□ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
④ 画面が明るすぎる／暗すぎる	□ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑤ 画面が揺れる	□ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。 □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
⑥ 音が出ない	□ オーディオ機器（コンピュータ等）の電源は入っていますか？ □ 音量が最小になっていませんか？ □ ミュート（消音）になっていませんか？ □ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑦ 音が大きい／小さい	□ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

クリーニング

警告

■万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

■安全のため、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

注意

■モニタにアルコールや消毒薬等を直接吹き付けたり、モニタの近くで使用しないでください。また、アルコールや消毒薬等を含んだ布やシート等でモニタを拭かないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

■モニタ (液晶パネル / キャビネット / コネクタ端子) や付属品を傷めないために、次の溶剤やクリーニングシート等は使用しないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤、過酸化物、アセトン、塩化メチレン、トルエン、アンモニア、次亜塩素酸ナトリウム水溶液 (塩素系漂白剤)、

次亜塩素酸水、酸性 / アルカリ性の溶剤、ワックス、研磨剤、OA クリーナー、ガラスクリーナー、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、化学ぞうきん、クリーニングペーパー等

補足

■液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■液晶パネルに水滴等をつけたまま放置しないでください。水滴等がついた場合はすぐに乾いた柔らかい布で拭きとってください。放置すると液晶パネルの変色や染みの原因になります。また、水分が内部に入ると故障の原因になります。

■キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

●通常のお手入れ

柔らかい清潔な布でやさしく乾拭きしてください。
汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に浸してから固く絞った布で汚れを拭きとり、素早く乾いた柔らかい布で拭いてください。

●アルコール消毒について

アルコール消毒は、キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。ご使用の前後に、モニタから離れた場所で手指消毒をするなどしてご対応ください。

やむを得ずモニタをアルコール消毒する場合は、上記の警告・注意事項について、あらかじめご了承ください。また、頻繁なアルコール消毒は避けてください。

アフターサービス

保証書 / 保証期間について

■ 本製品の保証書は、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに記載されています。

■ 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証期限はお買い上げ日より 3 年間です。
尚、本製品を「ディスプレイ延長保証のお申込み」サイトからご登録頂くことで、保証期間を 5 年かつ製品使用時間 30,000 時間以内に延長いたします。
詳しくはサポートサイト：https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support.aspx をご覧下さい。
ただし、保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。詳しくは、付属のセーフティ & クイックスタートガイドの＜保証条件＞をご確認ください。

修理サービス

■「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターへご連絡ください。

■ 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず iiyama サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後 5 年間保有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に 5 年間保有することができない場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、補修用性能部品の 5 年間の保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターにご相談ください。

■ 修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承ください。

リサイクル / 廃棄について

■ 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。

■ 製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

■ 本製品を一般家庭でご使用の場合は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。ただし、本製品を事業所でご使用の場合は、対象外となります。

■ リサイクル／廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧いただくか、iiyama サポートセンター リサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル／廃棄についてのお問い合わせ
iiyama サポートセンター リサイクル受付

TEL 03-6636-4312

このマークが表示されている弊社製品は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。
詳細は弊社ホームページをご参照ください。

URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/brand/iiyama/

付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

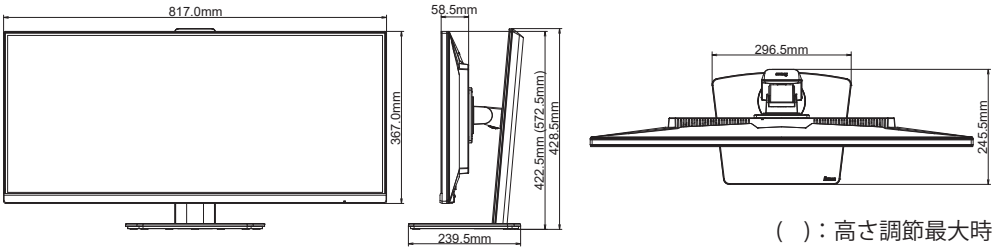
一般仕様：ProLite XUB3493WQSU-B6

サイズカテゴリ		34 型
液晶パネル	パネル方式	IPS 方式パネル
	サイズ	対角 86.7cm（34 型）
	画素ピッチ	水平 0.233mm ×垂直 0.233mm
	輝度	400cd/m^2（標準）
	コントラスト比	1000：1（標準），アドバンストコントラスト機能搭載
	視野角	左右上下各 89°（標準）
	MPRT	1ms
最大表示色		16,777,216 色
走査周波数		HDMI (Adaptive Sync 無)：水平：30 ～ 185kHz　垂直：55 ～ 120Hz HDMI (Adaptive Sync 有)：水平：30 ～ 185kHz　垂直：48 ～ 120Hz DisplayPort (Adaptive Sync 無)：水平：30 ～ 185kHz　垂直：55 ～ 120Hz DisplayPort (Adaptive Sync 有)：水平：30 ～ 185kHz　垂直：48 ～ 120Hz
解像度		3440 × 1440，4.9 MegaPixels
サポートされている最大解像度		HDMI：3440 × 1440 100Hz 2560 × 1440 120Hz DisplayPort：3440 × 1440 120Hz
信号入力コネクタ		HDMI コネクタ× 2，DisplayPort コネクタ× 1
入力映像信号		HDMI, DisplayPort
USB 規格		USB3.2 Gen 1（5Gbps）
USB 内蔵ポートコネクタ形状		1 Up stream：Type-B 4 Down stream：Type-A (DC5V, 900mA) × 2, Type-C (DC5V, 2A) × 2
スピーカー		5W × 2（アンプ付きステレオスピーカー）
最大表示範囲		水平：799.8mm　垂直：334.8mm
入力電源		AC100 ～ 240V 50/60Hz 1.2A
消費電力 *		44W（標準） スタンバイモード：0.5W（最大），オフモード：0.3W（最大）
外形寸法		817.0（幅）× 428.5 ～ 572.5（高）× 245.5（奥行）mm
重量		9.6kg
高さ調節範囲		150mm
角度調節範囲		チルト　上方向：23°，下方向：5° スウィーベル　左右方向：各 45°
環境条件		動作時：　温度　5 ～ 35℃ 湿度　10 ～ 80%（結露なきこと） 保管時：　温度　－ 20 ～ 60℃ 湿度　10 ～ 90%（結露なきこと）
適合規格		CE, TÜV, VCCI, PSE

補足 * USB 機器未接続時

日本語

外形寸法図



(　)：高さ調節最大時

対応信号タイミング

ビデオモード	水平周波数	垂直周波数	ドットクロック	
800 × 600	37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz	
	46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz	
1024 × 768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz	
	60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz	
1280 × 1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz	
	79.976kHz	75.025Hz	135.000MHz	
1920 × 1080	67.500kHz	60.000Hz	148.500MHz	
	135.000kHz	120.000Hz	297.000MHz	
2560 × 1440	88.860kHz	60.000Hz	241.699MHz	
	183.000kHz	120.000Hz	497.760MHz	
3440 × 1440	88.860kHz	60.000Hz	319.896MHz	*1
	151.000kHz	100.000Hz	543.600MHz	*1
	181.920kHz	120.000Hz	654.120MHz	*1,2

補足 *1 ビデオカードは、3440 × 1440 60Hz / 100Hz / 120Hz の解像度をサポートしている必要があります。

*2 DisplayPort 入力時のみ有効です。

お客様の個人情報の管理および利用について

当社は、お客様の個人情報について、「個人情報の保護に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に準拠し、取り扱いを定めて、適切に管理，利用いたします。

当社が定める「個人情報保護方針」は、下記 URL からご確認ください。

URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/privacy/privacy.aspx

株式会社マウスコンピューター

● 製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ

iiyama サポートセンター

24 時間 365 日サポート対応
TEL　03-6636-4312
FAX　03-6636-4341

特定化学物質の含有情報は下記の弊社サイトに掲載しています。

URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support/jmos.aspx

サポートの最新情報 (連絡先等) は弊社サポートサイトに掲載しています。
お問い合わせの前に、サポートサイトにてご確認ください。

URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support.aspx